

ロシーちゃんと緑のカーネン



川崎市中原区役所

「まだ5月なのに・・・暑いなあ。
 これじゃあ夏になったらどうなるの」
 北極の氷が溶けて中原区に流れ着いた
 白くまのロージーちゃん。
 中原区の暑さに困っているようです。



① ヒートアイランド現象ってなに？

都市部の気温が周辺部より高くなる現象をヒートアイランド現象といいます。太陽の熱でアスファルトにおおわれた道路があたたまることが原因の一つとされています。中原区はヒートアイランド現象によって、川崎市で1番暑いのだそうです。
 (平成19年11月14日付け川崎市公害研究所調べ)



「ロージーちゃん、ヘチマやゴーヤーで作った緑のカーテンがあると涼しくなるよ」とうさぎちゃん。「そうなの？じゃあ育てやすいゴーヤーで緑のカーテンを作ってみよう」



② いろいろな緑のカーテン

葉の大きな植物は、緑のカーテンを作ることができます。



「よいしょ。よいしょ。」
 たくさんの土に大きなプランター、
 じょうろ、スコップ…緑のカーテンを
 作るため、みんなで用意しました。



ゴーヤーを育てる前に用意するもの

土・肥料
 粒が大きい赤玉土と野菜用の培養土を使います。
 よく育つように、植え付けの10日前に土作りをしましょう。

土づくり



プランターの底に赤玉土を敷き詰め、その上に培養土を入れます。スコップなどでかき混ぜて、空気をいれておくのも効果的です。

プランター & ポット



プランターは長方形で深さが30cm以上のものを使いましょう。ポットは苗を育てるのに使います。

じょうろ&スコップ



種



作業する時の服装

ネット

ゴーヤーの子ツルは横に伸びます。支柱より、10cm幅くらいの網状のネットのほうが、緑のカーテンを作るのに適しています。



「種の先を切ると、根が顔を出しやすくなるんだよ」と物知りたぬきくん。
手を切らないように気を付けて、種のとがったほうを切っていきます。



2～3日で白い根が出てきました。
「根が出たらポットに種を植えよう。」



種eの準備

5月頃



種のとがったところを切って、水でたっぷり濡らせたガーゼの上に置きます。



※中の緑の部分まで切らないように注意しましょう。



3～4日で根がでます。



※気温によって根がでる期間は異なります。



ポットeに種を植えるコツ



赤玉土

水やりでポットから土がこぼれないように、ポットの穴に赤玉土をはめ込みます。

種は、白い根を下向きにして2～3センチくらいの深さに植えましょう。2～3日で発芽します。

※発芽させるのに適した気温は25度～30度くらいです



「1..2..3..葉っぱが増えたね」
本葉が3~4枚になったら、大きな
プランターに植えかえます。



根を傷つけない
ように、しっかり
持って植えかえよう

だんだんつるも生えてきました。
「大きな緑のカーテンになるように、
つるをネットに巻きつけよう」
みんなでゴーヤーのお手伝い。



プランターに植えかえる時は...



プランターに2~3株の
苗を植えます。
苗の間隔は30センチくらい
あけましょう。

7

苗のお手伝い

苗が小さいうちは、風や雨に
あたって倒れてしまうことも
あります。用心のために長さ
40センチくらいの支柱を使いま
しょう。



8

ゴーヤーはすくすくそだ育ちました。
「ロジーちゃんの家がいえ緑でいっぱいだ。」
「わあ、虫たちが遊びに来てるよ。」

「みどり緑のカーテンがあると涼しいね」
ゴーヤーは二階建ての建物の屋根に
届くくらいの高さまで成長します。



みどり
「緑のカーテンがある部屋とない部屋、
涼しさがちがうのはなぜ？」

とロージーちゃん。

みどり
「緑のカーテンが直射日光をさえぎるから
じゃないかなあ？」とうさぎちゃん。



みどり
緑のカーテンにはこんな効果が・・・

葉の大きな植物を育てると、葉っぱで直射日光を
防ぐことができます。また、葉には蒸散作用といって、
根から吸い上げた水を水蒸気として葉の裏から発散する
はたらきがあるので、緑のカーテンの内側は涼しくなります。



みんなが頑張って世話をしたので、
ゴーヤーがたくさんになりました。

いよいよ収穫です。

料理の得意なたぬきくんが、さっそく
ゴーヤーチャンプルを作ってくれました。



なぜ??

実がなっても大きく
ならずすぐに黄色く
なってしまうのは
なぜ?



土に栄養が足りません。
すぐに、プランターに
肥料を足しましょう。



みんなで育てたゴーヤーは、どんな味がするのでしょうか？

ひとくち食べてみると、みんなの顔に笑みがこぼれました。

「私たちのゴーヤー、おいしいね。」



種を採るには…

果肉に守られるように種ができているので、赤い果肉が乾いて、中から種が顔を出すのを待って、採取しましょう。風通しの良いところで乾かし、紙袋などに入れ、湿気を避けて保管しましょう。



だんだん涼しくなってきました。

「もう秋だね。緑のカーテン…夏の間に、家の中を涼しくしてくれて、どうもありがとう」

みんなで緑のカーテンを片付けました。

「来年もみんなで育てようね」





発行 川崎市中原区役所 企画課
〒211-8570
川崎市中原区小杉町3-245
TEL 044-744-3149
FAX 044-744-3340
<http://www.city.kawasaki.jp/65/65nakahara>